

第1学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○

1 単元名 進路学習を通して、自己の生き方を追究しよう～生き方学習「職場取材」発表会～

2 指導観

○ 単元観

「夏長風月」という文字は目にしたことがないと思われるが、20年前、ある大学教授の講義の中で耳にした記憶がある。その意味は生徒が就職するにあたって、長い夏休みがあり、環境がよく、しかも月給もよいという条件を満たしている企業に希望するということである。現在では、失業率は徐々に高くなり、フリーター、ニートなどの増加も大きな社会問題となっている。現代の若者にとっては以前の就職状況・社会情勢とは全く異なり、深刻な状況であるが、一部の生徒にはそのような状況に無関心であるという姿が私たち教師の目に映る。

現在、生徒が必要としなければならないことは「自分自身を知る」（自己理解）ということである、そのために自分の生き方や生活を振り返り、今の自分を冷静に見つめ直すことが重要だと考える。

この単元で学習する職業調べ、保護者からの聞き取り、社会人講話では、労働についての苦勞や喜びを理解し、感謝の心を育み、ひいては、自分のことを見つめられるようにする。そのことが職業選択に関わる自分なりの構想を立てる力となり、進路に向けての重要な要素になると思われる。また、職場取材で、将来本当に就きたい、興味深い職業を選択させ、自分たちの力で職場を探し（判断力）、実際に間近に見学し、取材活動（スキル学習の徹底・実践力）をすることにより、職業というものが一歩近付き、夢をもって進路を語る（表現力）ような人間になることができる。さらには2年生で行われる職場体験学習につなげていけるようにしたい。

○ 生徒観

1年生は、男子36名、女子40名、計76名の活発な元気な生徒である。

生徒は、1学期、学活・総合的な学習の時間に保護者と生徒で「わが子に対する願い」・「将来の夢を語ろう」という題材で話し合う機会をつくったが、家庭でじっくりと話し合うことができている状況が一部あった。その背景には、自分の将来の夢（職業）を考えきれない生徒、また、深刻な家庭状況もあり、親子の会話がもてない現状がある。

夏休み中に職場取材のため職場選択、取材内容、場所の決定を課題にしていたが、一部の生徒は無関心であり、考えきれない生徒もいる。職場取材を行い、来年度の職場体験につなげていくためにも再度、進路学習に目を向けさせなければならない。

本時では、仕事の内容から苦勞話、必要な能力、進路選択、学校生活のあり方などを学習するが、形だけに終わらせないように心がけたい。

○ 表現の場の内容及び工夫

指導にあたり、まず「親の労働に学ぶ」というテーマで、親からの聞き取りを行い、その感想を書かせた。次に、親への感謝の気持ちや将来なりたい職業を出し合ってグループごとにクラスで発表をさせた。さらに、友人の発表を聞き、意見を出し合わせた。これらの学習により、各自の進路意識が高まったと思われる。

本時のプレゼンテーションは、今までの進路学習を劇や OHP、パワーポイント、模造紙等を使ってわかりやすく発表させる。

- 3 指導計画 9時間
 第1次 「進路に向けて親からの聞き取り・夢を語ろう」 3時間
 第2次 職場取材・社会人講話に向けての取組 6時間 (本時6/6)

4 本時 平成21年10月2日(金)第5校時(9/9) 武道場にて

(1) 本時の指導観

ワークシートをもとに聞き手にわかりやすく発表させる。また、他のグループの発表に対して質問や意見を出させることにより、職業に対する意識を高める。

(2) 主眼

- スキル学習をもとに声の大きさ・速さ・内容などわかりやすく発表できる。
- 意見・質問など頻繁に出すことができる。

(3) 準備

- ①OHP ②パソコン ③スクリーン ④ワークシート ⑤評価カード

(4) 展開

学 習 活 動 ・ 内 容	準備	学 習 の 手 立 て	形態	配時
1 本時の学習のねらいや流れの確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 職場取材・社会人講話でわかったことや気付いたことをみんなに発信しよう。 </div>	①	・評価カードを準備させ、本時のねらいと班内での発表会の流れを確認させる。	一斉	5
2 班ごとに発表する。 ① OHPによる発表 ② 劇による発表 ③ パワーポイントによる発表 ④ 模造紙による発表 ・発表を聞いて評価カードを記入する。 ・聞きたいことや質問をする。	①② ③④ ⑤	・発表がスムーズにできるように工夫させる。 ・評価カードに良い点や修正したところが良いところのメモを取らせ、質問ができるようにさせる。 ・発表の仕方や内容、聞く姿勢の評価をさせる。 ・多くの生徒が、聞きたいことや質問ができるように、発言内容を簡潔に発表させる。	班	40
3 職場取材や発表を通して学習したことを振り返る。	④	・職業に対する意識を高めるため、職場取材のまとめをさせ、自分自身のものとさせる。	一斉	5